



E-TYPE



パック⑦組立ガイド

ステージ④⑨サイレンサー

ステージ⑥⑩左フロントホイール1

ステージ⑥⑪左フロントホイール2

ステージ⑥⑫左フロントホイール3

ステージ⑥⑬左フロントタイヤ

ステージ⑥⑭右リアホイール1

ステージ⑥⑮右リアホイール2

ステージ⑥⑯右リアホイール3

● 組み立て前の注意点 ●

- ① 予備ネジが付属しています。予備は必要本数+1個です（例:2本必要な場合には「×3」とパーツリストに示されます）。
- ② 異なるネジが交ざらないように注意してください。見た目はよく似ていますが、ネジ山が微妙に異なります。誤ったネジを使用すると、ネジ山や部品が破損することがあります。
- ③ 複数のネジで部品を固定する際、最初に各ネジを緩く締め付け、部品が正しく取り付けられているかを確認してから、各ネジを増し締めしてください（締めすぎないように注意）。
- ④ ドライバーの金属部分を磁石でこすると磁化され、先端でネジを保持しやすくなり、組み立てが楽になります。
- ⑤ 金属部品を留めるネジがきつい場合、無理に入れると頭やネジ山が破損します。爪楊枝の先などに機械オイルなどをほんの少し付けてネジ山に塗れば、スムーズに締められます。
- ⑥ 右側・左側は座席に座った位置から見た左右となります。

● 厳重注意 ● 一部の部品には磁石が使われています。磁石を誤飲すると、健康上の問題を生じる場合があります。こうした部品は子供の手の届かないところに置き、磁石を飲み込んだと思われる場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

ステージ④9サイレンサー

エキゾーストシステムの間部分に取り付けるサイレンサー（消音器）を組み立てます。



ステージ④9パーツリスト

名称

サイレンサーアップパー

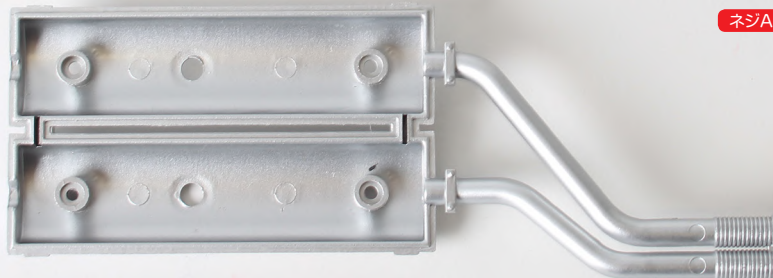
サイレンサーボトム

ネジAG06×7

サイレンサーアップパー



サイレンサーボトム

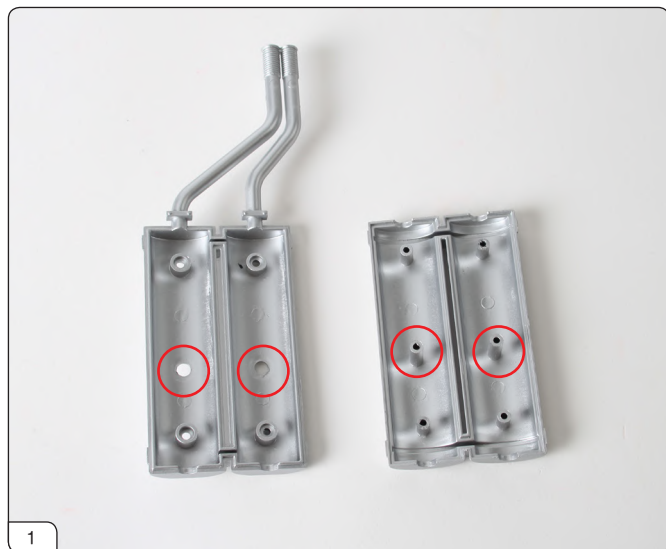


ネジAG06×7



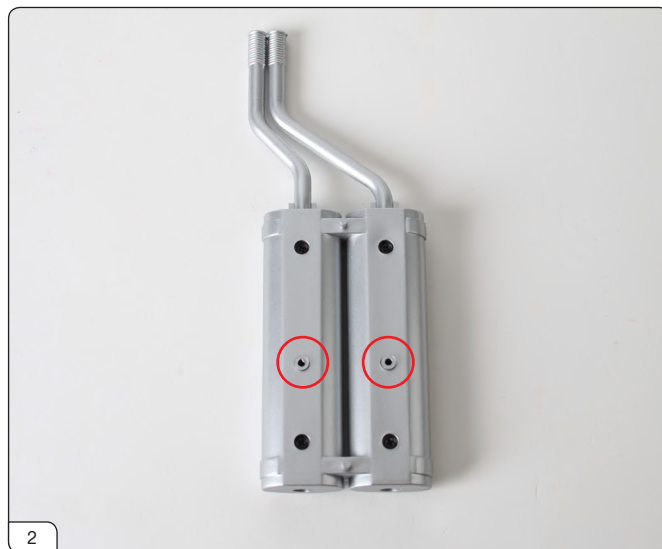
ステージ④サイレンサー

STEP1

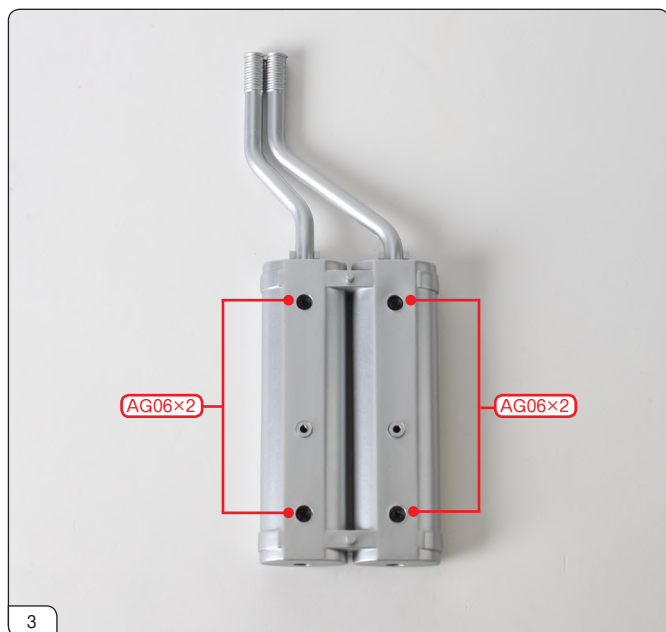


サイレンサーの組み立て

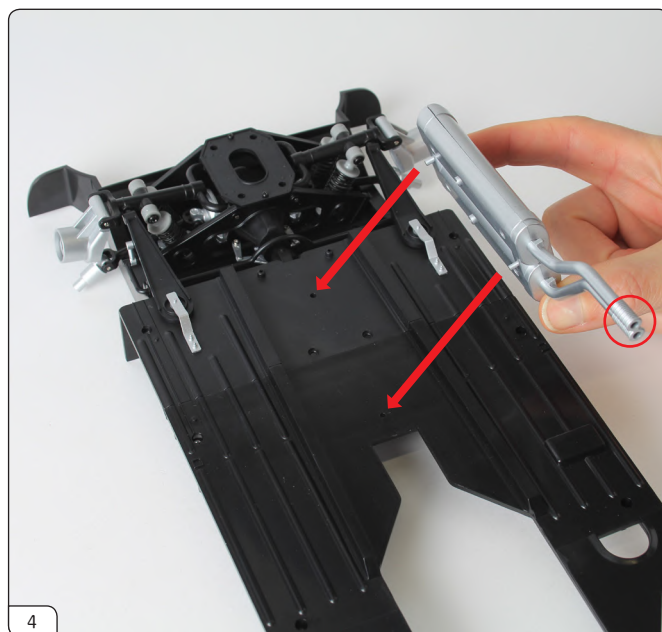
サイレンサーアッパーとサイレンサーボトムを合わせます。



サイレンサーアッパーの長い突起が、サイレンサーボトムの赤丸印に収まります。



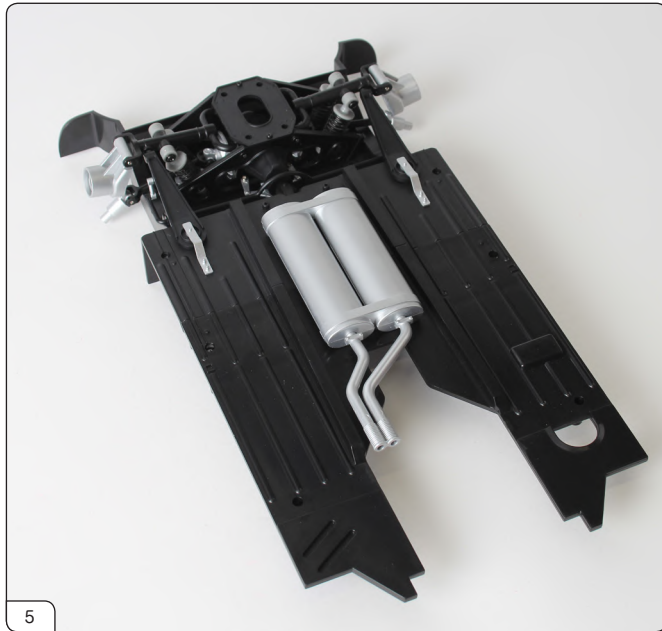
AG06のネジ4本で固定します。



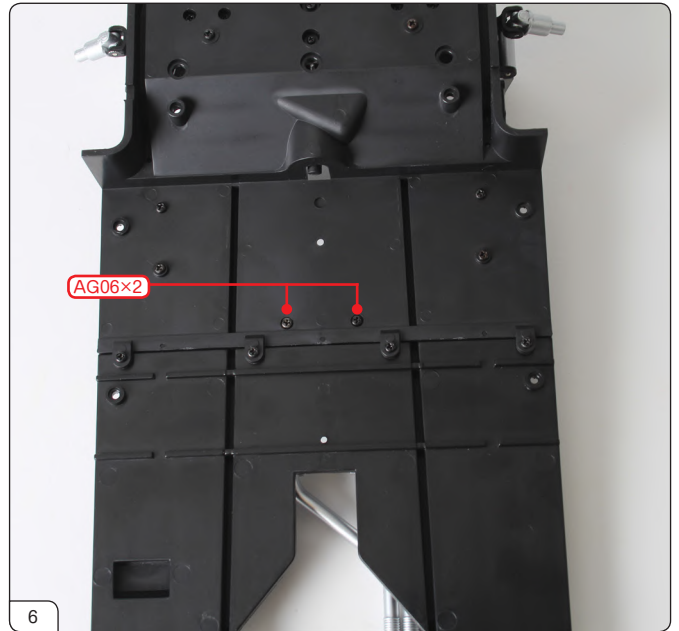
サイレンサーの取り付け

ステージ④で組み立てたフロアパネルにサイレンサーを取り付けます。サイレンサーの2つの突起をフロアパネルの穴に差し込みます（赤矢印）。サイレンサーのエキゾーストパイプの向きは、赤丸印の通りです。

ステージ④9サイレンサー

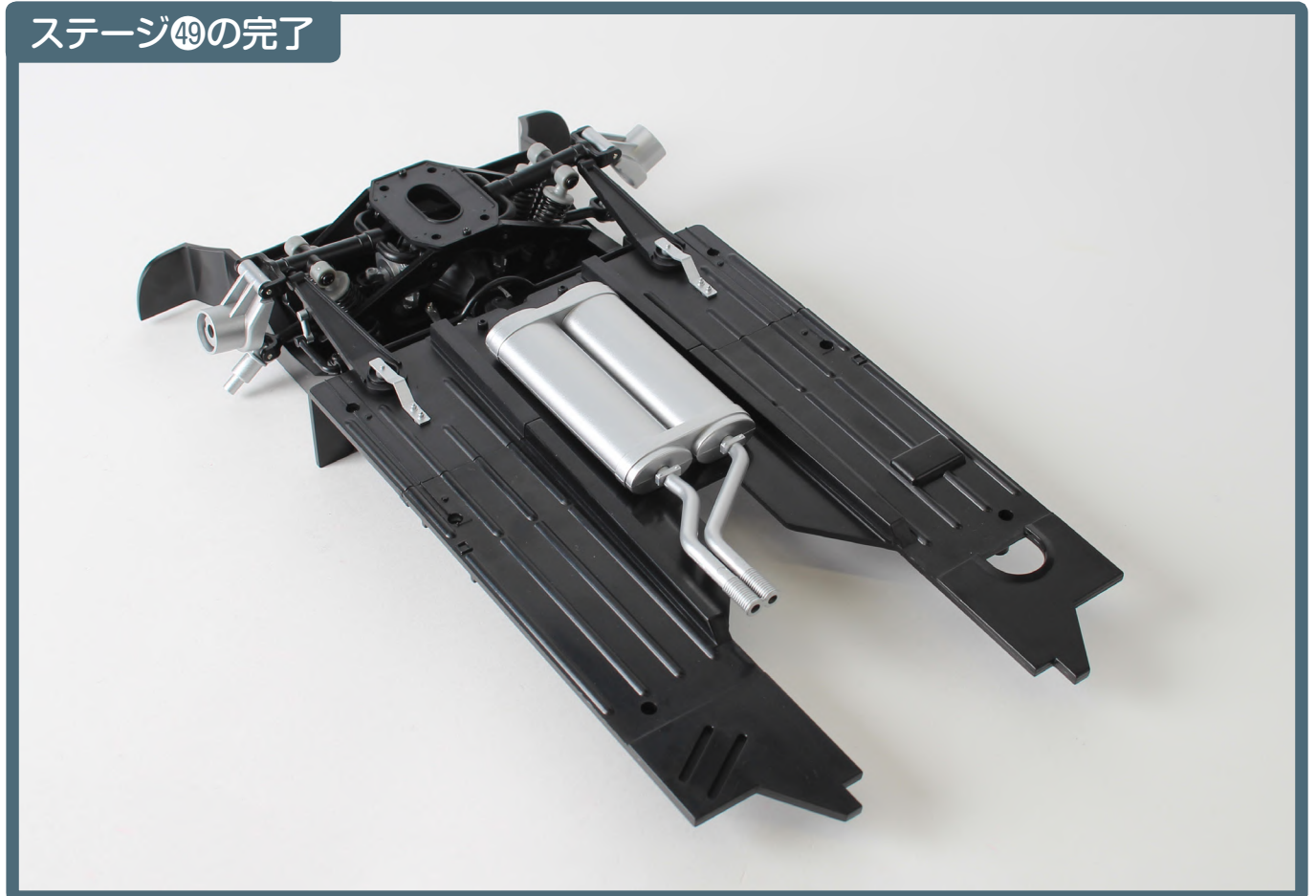


サイレンサーの突起をしっかりと押し込みます。



フロアパネルを裏返して、AG06のネジ2本で固定します。

ステージ④9の完了



ステージ⑤⑩左フロントホイール1

左フロントホイールを組み立てていきます。手順はステージ③⑤から④①で組み立てた右フロントホイールおよびタイヤと同じです。複雑ですので、慎重に組み立てていきましょう。ここではホイールリム（外周）とインナースポークの開梱です。



STAGE⑤⑩パーツリスト

名称

インナースポーク×24

ホイールリム（外周）



インナースポーク×24



ホイールリム（外周）

ステージ⑤①左フロントホイール2

左フロントタイヤのホイールを組み立てていきます。ステージ⑤④でタイヤを取り付けて完了です。



STAGE⑤①パーツリスト

名称
スポークリテーナリング
ホイールセンター
インナースポーク×24
ネジAG02×5



ホイールセンター



インナースポーク×24

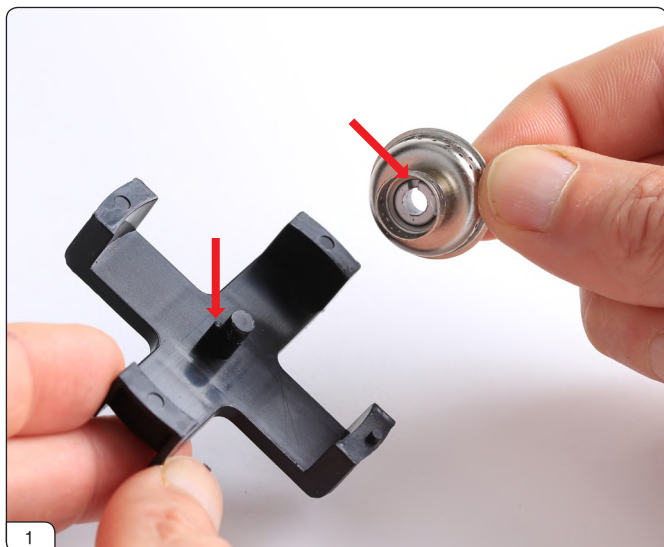


ネジAG02×5



ステージ⑤①左フロントホイール2

STEP1

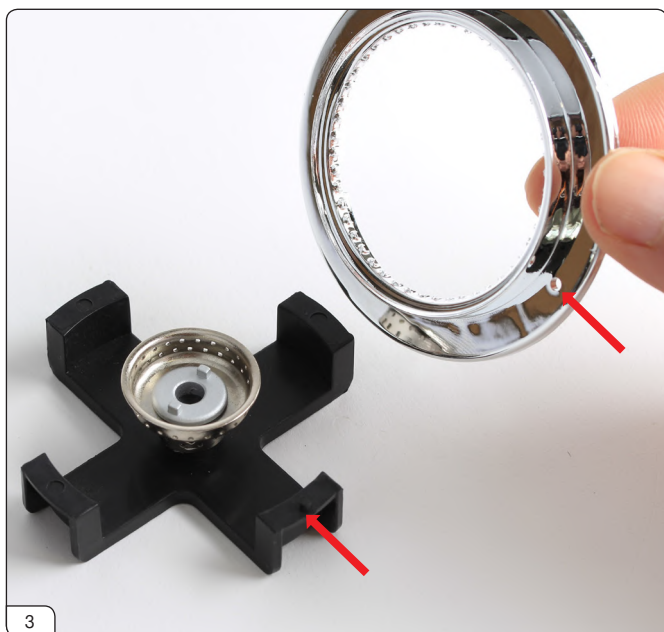


ジグ(治具)をセットする

保管しておいたジグにホイールセンターをセットします。ホイールセンターの切り欠きとジグのタブを合わせて (赤矢印)、ジグのセンターに配置します。ジグは組み立てを容易にするガイドのようなもので、作業が完了したら取り外します。



ジグにホイールセンターがセットされた状態です。

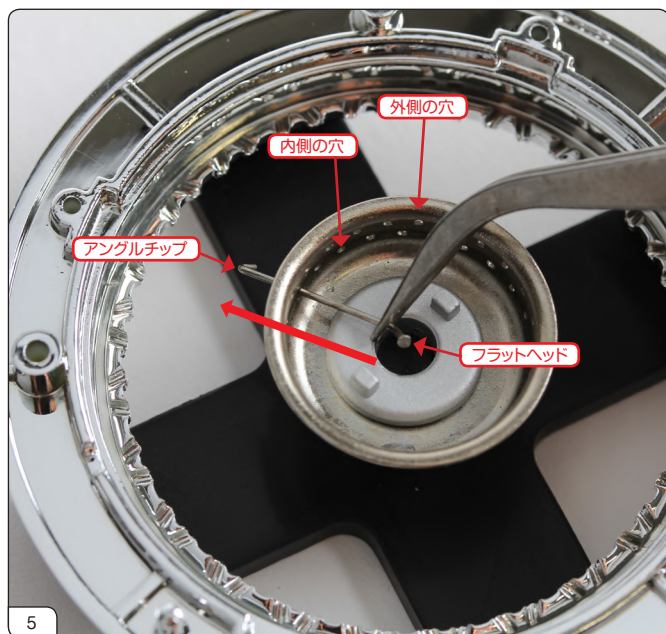


ホイールリムの外周の穴とジグの突起を合わせて (赤矢印)、ホイールリムをジグにはめ込みます。



ホイールリムがジグにはめ込まれた状態です。

ステージ⑤ 左フロントホイール2



スポークの取り付け 内側の穴

まず、ホイールリムの内縁に、幅が交互に異なる「歯」があることに注意してください(写真6参照)。取り付けるスポークの両端はほぼ直角に曲がり、一方の端はヘッド部分が釘の頭のように平らになっています(アングルチップとフラットヘッド)。一連の作業は、ピンセットでアングルチップをホイールセンターの穴に通し(赤矢印)、ホイールリムの内縁にある「歯」に引っ掛ける繰り返しとなります。



写真のようにホイールリムの「歯」は、幅が「広い歯」と「狭い歯」が交互に並んでいます。最初の1本はスポークをアングルチップから内側の穴に通し、アングルチップが一番フィットする最も近い「広い歯」に先端を引っ掛けます。作業は付属のピンセットを使用してください。

注意:正しく取り付けるにはコツがあります。ホイールセンターを軽く押したりひねったりして動かし、各スポークのテンションを調整しながら取り付けていきましょう。



次に2本目のスポークを、1本目の隣の内側の穴に通し、アングルチップを次の「広い歯」に引っ掛けます。内側の穴に通すスポークは、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



同様に3本目のスポークを取り付け、以後、ホイールセンターの内側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けることです。注意して作業を進めてください。

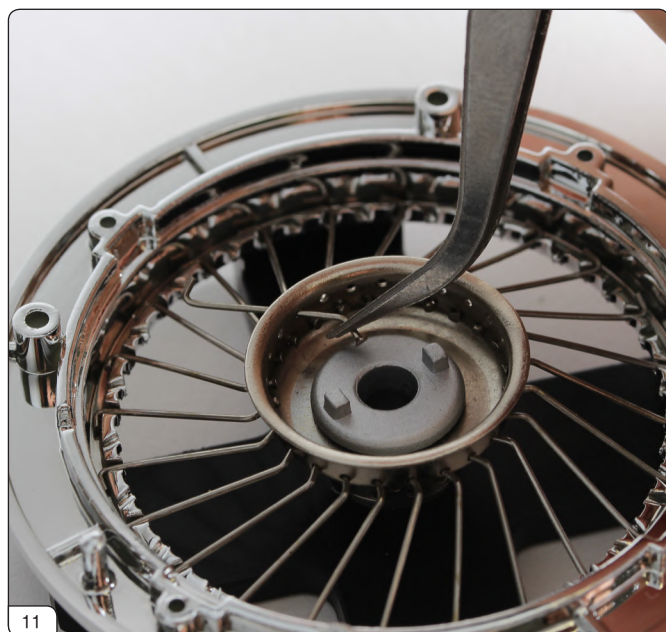
ステージ⑤①左フロントホイール2



内側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



横から見た状態です。すべてのスポークが、内側の穴に取り付けられています。



スポークの取り付け 外側の穴

続けて、外側の穴にスポークを取り付けていきます。



アングルチップを穴に通して「広い歯」に引っ掛けることは同じですが、アングルチップは、内側の穴と逆方向を向きます。黄矢印が内側の穴のスポークで、赤矢印が外側の穴のスポークとなります。

ステージ⑤ 左フロントホイール2



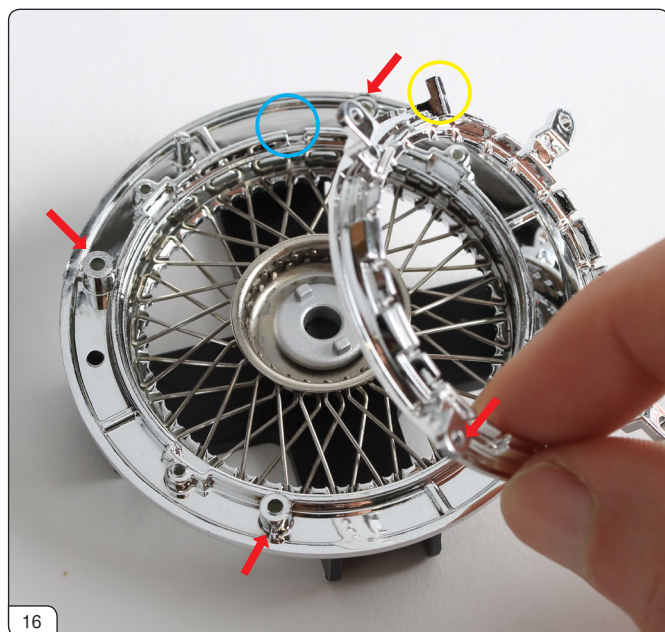
次に2本目のスポークを、1本目の隣の外側の穴に通し、アングルチップを逆向きにして（赤矢印）、次の「広い歯」に引っ掛けます。外側の穴に通すスポークも、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



以後、ホイールセンターの外側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けること、アングルチップを逆向きに引っ掛けることです。



外側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



スポークを止める

次はスポークリテーナリングでスポークを止める工程です。スポークリテーナリングを、ホイールリムの上に注意深く置きます。スポークリテーナリングの突起（黄丸印）とホイールリムの切り欠き（青丸印）を合わせると、赤矢印のネジ穴が合うはずですよ。

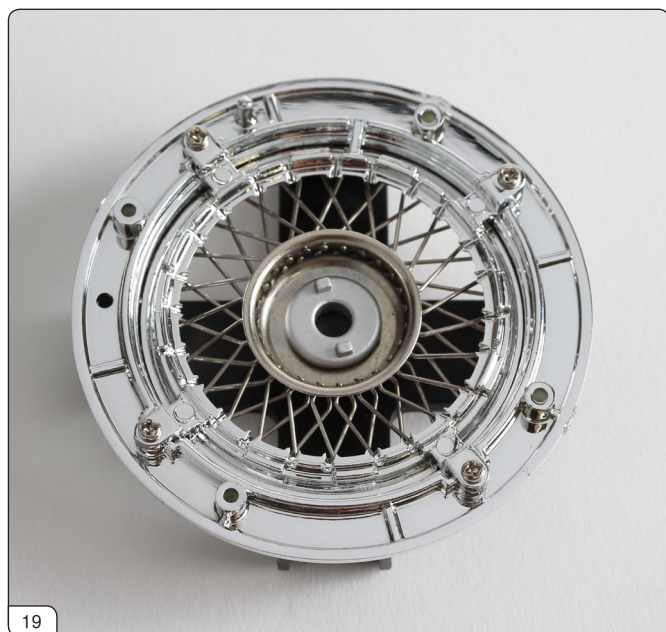
ステージ⑤ 左フロントホイール2



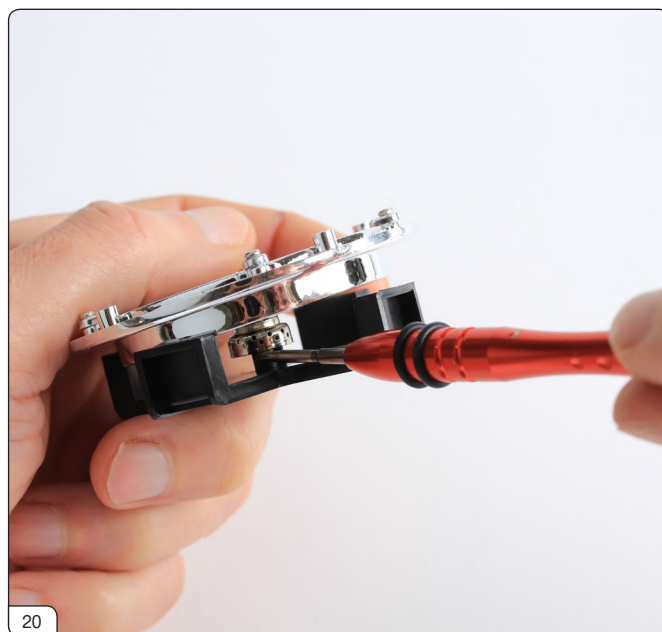
AG02のネジ4本で固定しますが、最初は緩めにネジを締めます。



AG02のネジ全部を緩めに締めたあと、スポークにがたつきがないか確かめながら、各ネジを増し締めしていきます。



スポークがしっかりと固定された状態です。



ホイールをジグから外します。ホイールを無理に引っ張らず、ドライバーなどを梃子にして外しましょう。ジグは残りの車輪を組み立てるときに使います。保管しておいてください。

ステージ⑤左フロントホイール2

ステージ⑤の完了



ステージ⑤②右フロントホイール3

ステージ⑤①に続いて、インナーリムを組み立てていきます。



STAGE⑤②パーツリスト

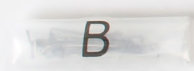
名称
インナーホイールリム
スペーサーリング
スポークタイプB×12
スポークタイプA×12
ネジAG03×5



インナーホイールリム



スペーサーリング



スポークタイプB×12



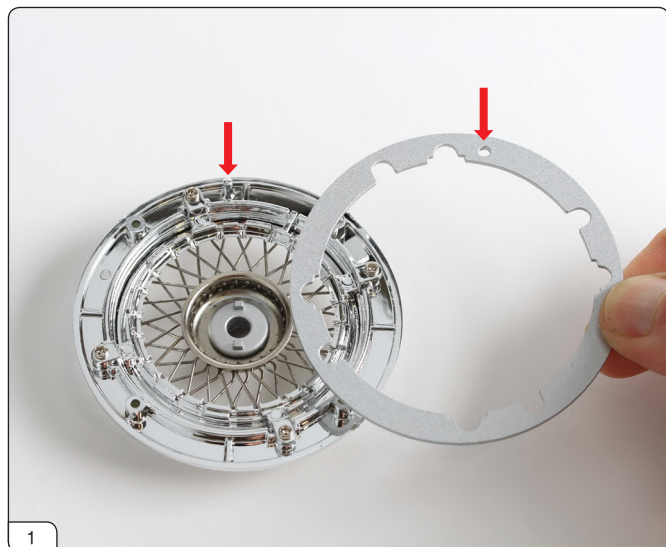
ネジAG03×5



スポークタイプA×12

ステージ⑤ 右フロントホイール3

STEP 1



スペーサーの取り付け

ステージ⑤で組み立てたホイールリムにスペーサーリングを取り付けます。スペーサーリングの穴（赤矢印）とホイールの突起（同）を合わせます。

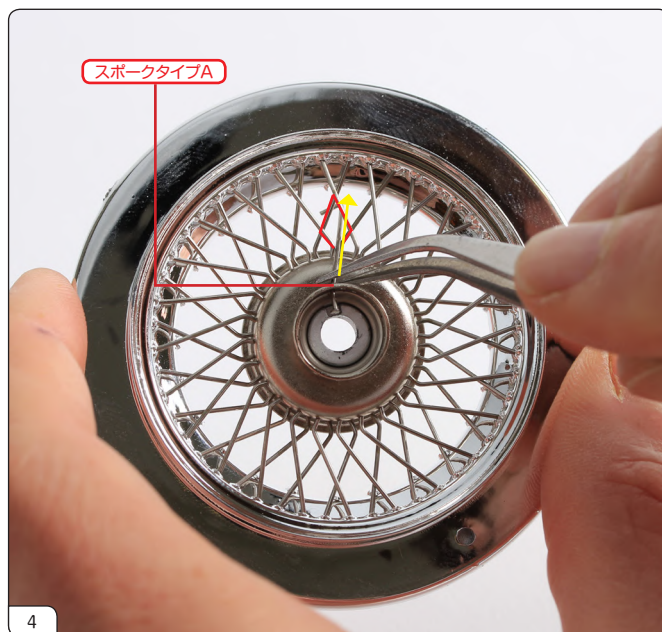


スペーサーリングを「カチッ」と音がするまで押し込みます。



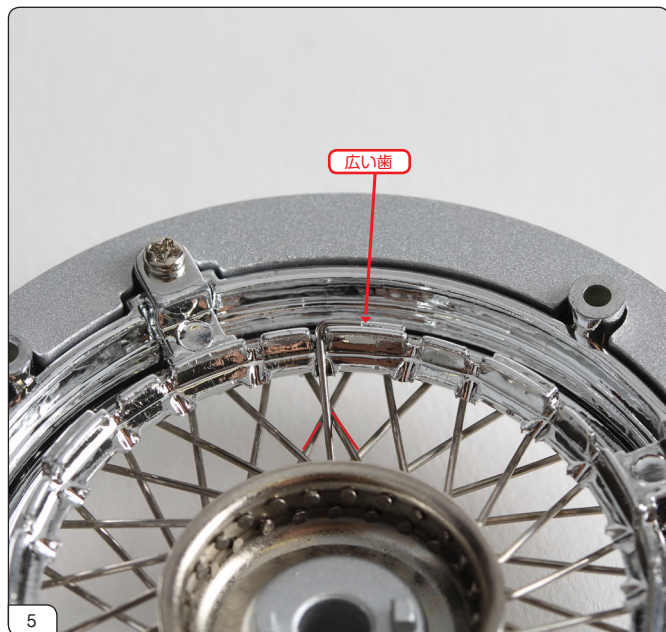
スポークの取り付け 内側の穴

ホイールリムを裏返して、スポークを装着する小さいホイールセンターを上に出します。ステージ⑤と同じようにスポークを通す穴は、内側の穴と外側の穴があります。最初に内側の穴からスポークを取り付けていきます。

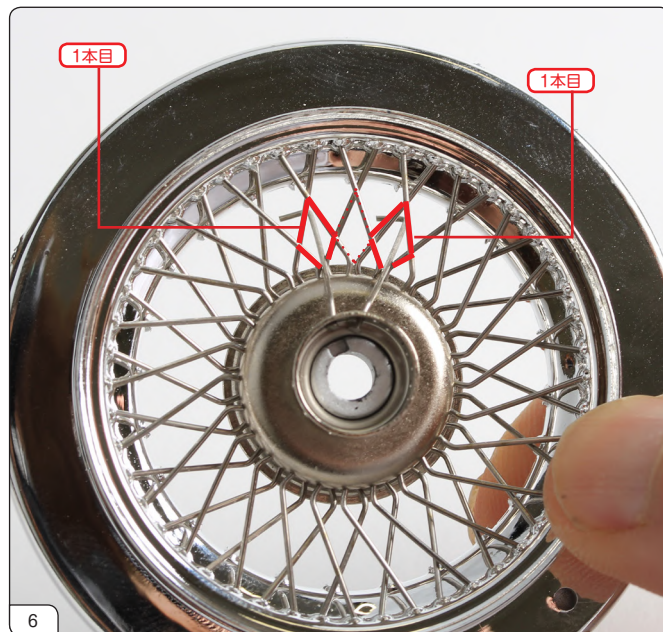


ピンセットを使って、スポークタイプAを内側の穴に通します。アングルチップを赤い菱形の開口部からやや時計回り（黄矢印）に向け、反対側に出します。

ステージ⑤2右フロントホイール3



ホイールリムを裏返し、先端のアングルチップが「広い歯」に引っかかるかどうかを確認します。「広い歯」に引っかからない場合には、スポークタイプAを引き出して、再度隣の穴に入れてみてください。今度は引っかかるはずです。



最初のスポークタイプAが正しく装着されるのを確認したら、アングルチップはフリーのままにしておきます。続いて2本目のスポークタイプAを隣の内側の穴に通します。

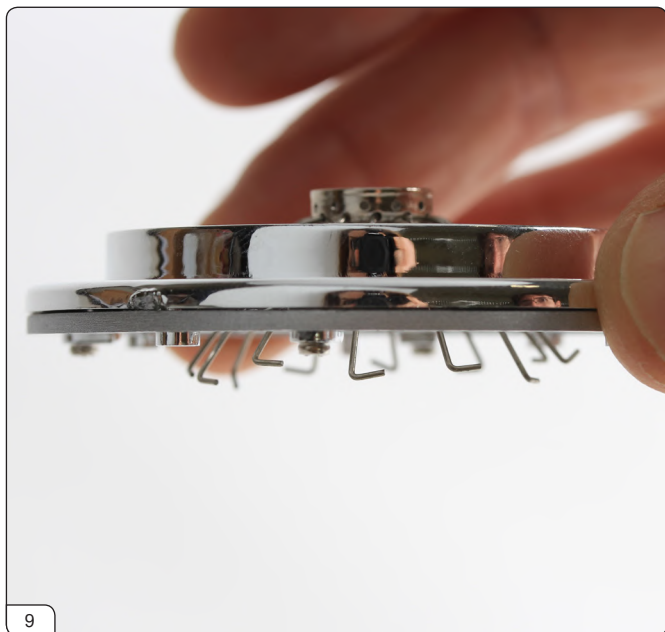


この作業を繰り返して、12本のスポークタイプAを入れていきます。スポークタイプAが入る場所は、赤い菱形部分です。青丸印は工程11に関連した目印です。



スポークタイプAの12本が、内側の穴に装着されました。

ステージ⑤2 右フロントホイール3

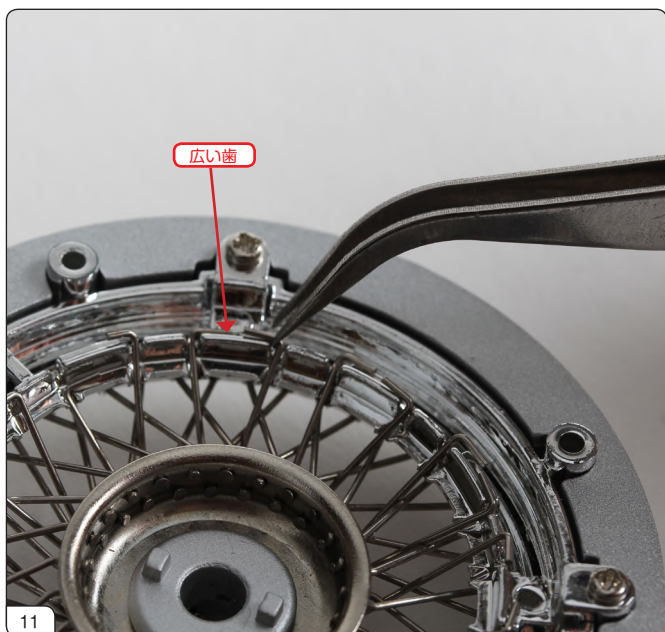


横から見た状態です。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。



スポークの取り付け 外側の穴

次にスポークタイプBを外側の穴に入れていきます。



スポークタイプBの装着は、空いた菱形の開口部（スポークタイプAを入れていない菱形の開口部。工程7の青丸印）に入れます。まずは反対側の広い歯に引っかかるかどうかを確認します。



スポークタイプBを反対側に通すと、スポークタイプAと交差（赤と黄色破線）するはずですが、「広い歯」に引っ掛かることを確認しながら、スポークタイプBの12本を入れていきます。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。

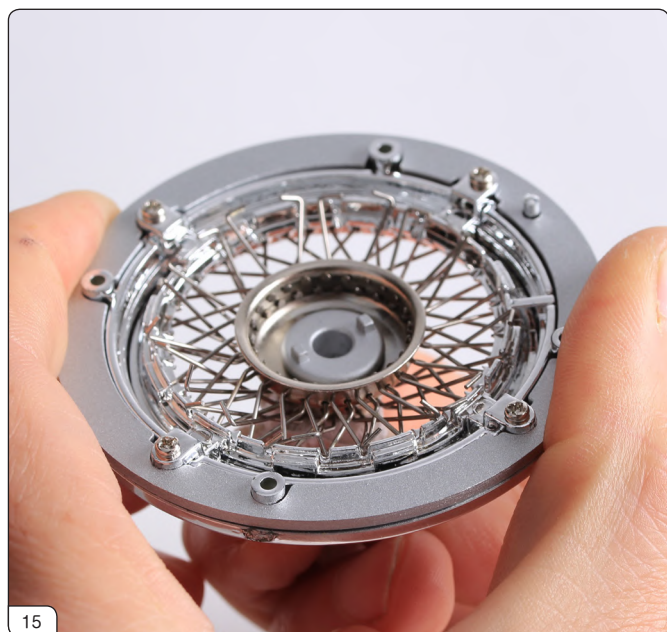
ステージ⑤2 右フロントホイール3



スポークタイプBの12本が、ホイールリムに取り付けられました。



コットンないしキッチンペーパーを用いて、スポークのフラットヘッド部分を押し込むようにして、フラットヘッドを所定の位置に固定します。

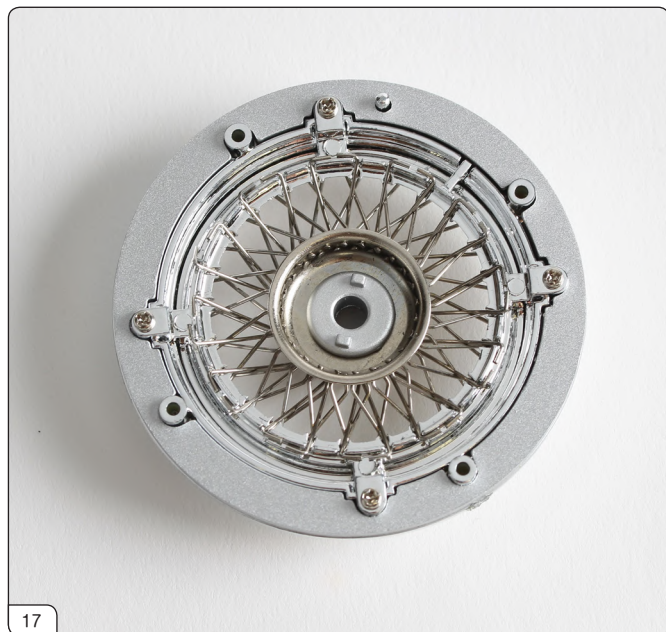


コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらホイールリムをひっくり返します。

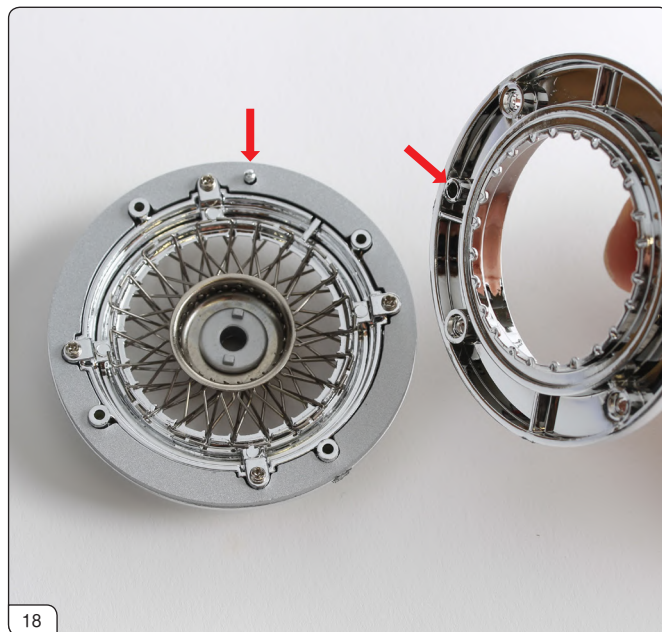


コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらスポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップを「広い歯」にセットしていきます。親指でなでるように押さえたり、ピンセットも使ってみてください。

ステージ⑤2 右フロントホイール3



スポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップが、正しくセットされた状態です。

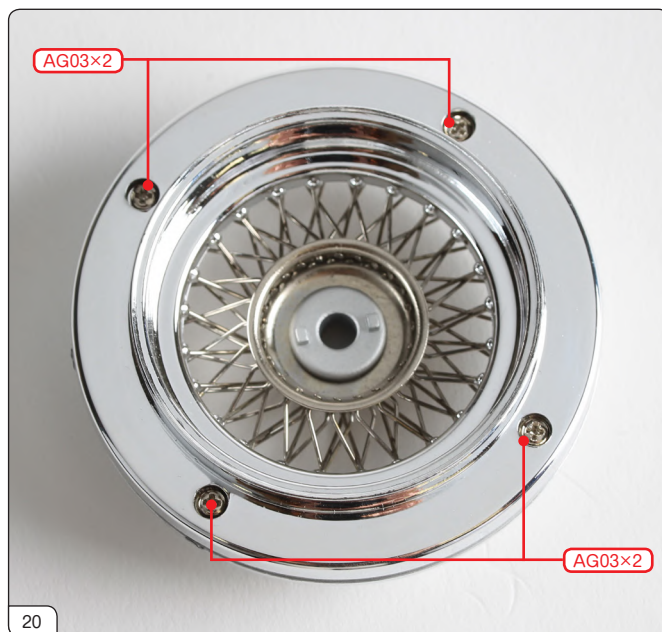


インナーホイールリムの取り付け

このステージで開梱したインナーホイールリムの穴とスペーサーリングの突起 (赤矢印) を合わせます。



これでネジ穴が合うはずです。インナーホイールリムをしっかりと押し込みます。ここでスポークリテーナリングとインナーホイールリムが、ぴったりと合わさっていることを確認してください。ギャップがある場合には、前の工程に戻ってスポークを調整します。



インナーホイールリムをAG03のネジ4本で固定します。

ステージ⑤2右フロントホイール3

ステージ⑤2の完了



ステージ⑤③左フロントタイヤ

左フロントタイヤにホイールを組み付け、サブフレームに固定します。



STAGE⑤③パーツリスト

名称

タイヤ

ワッシャー

ネジAM07×2



タイヤ



ワッシャー



ネジAM07×2

ステージ⑤左フロントタイヤ

STEP 1



タイヤへの組み付け

ステージ④で完成した左フロントホイールをタイヤにはめます。小さなボウルに熱湯を入れて、タイヤを約2分間浸します。

注意: 工程1～4のタイヤの写真は、ステージ④のスペアタイヤです。本ステージで供給されるタイヤとはトレッドパターンが若干異なりますが、装着方法は同じです。



ピンセットを使ってタイヤをボウルから取り出し、キッチンペーパーやタオルで余分な水分を除きます。火傷しないように注意してください。



タイヤが柔らかいうちに、ホイールをタイヤに押し込みます。ホイールを縦にねじこみ、回し込むようにはめていきます。下記の動画も参考にしてください。



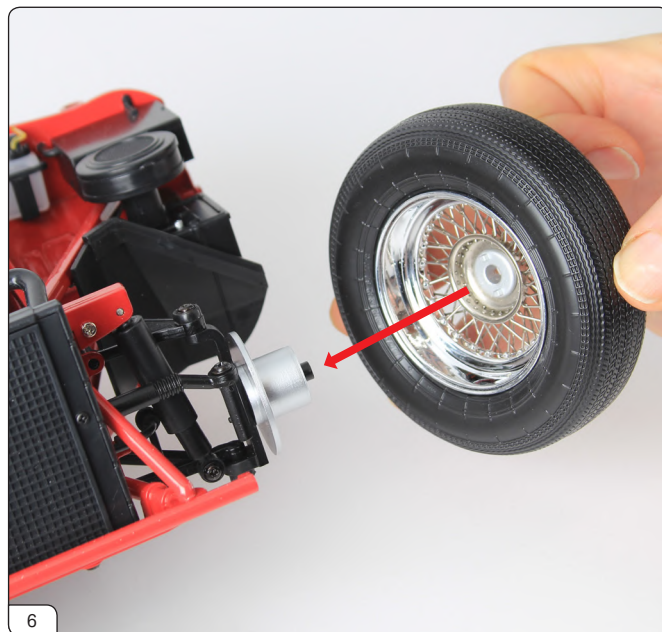
ホイールがタイヤの内壁に完全にフィットするまで、ねじこむ作業を続けます。

<https://youtu.be/NdYp1kBoJSs>

ステージ⑤③左フロントタイヤ



左フロントタイヤにホイールが装着された状態です。



ホイールを左サスペンションアップライトに取り付けます。ホイールセンターの2つの突起を、ブレーキディスクの切り欠きに合わせてセットします。

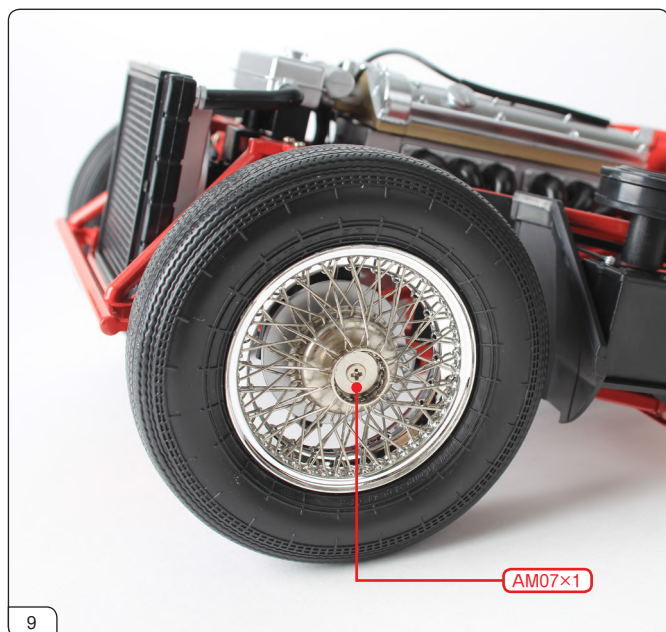


ワッシャーをホイールセンターにセットします。



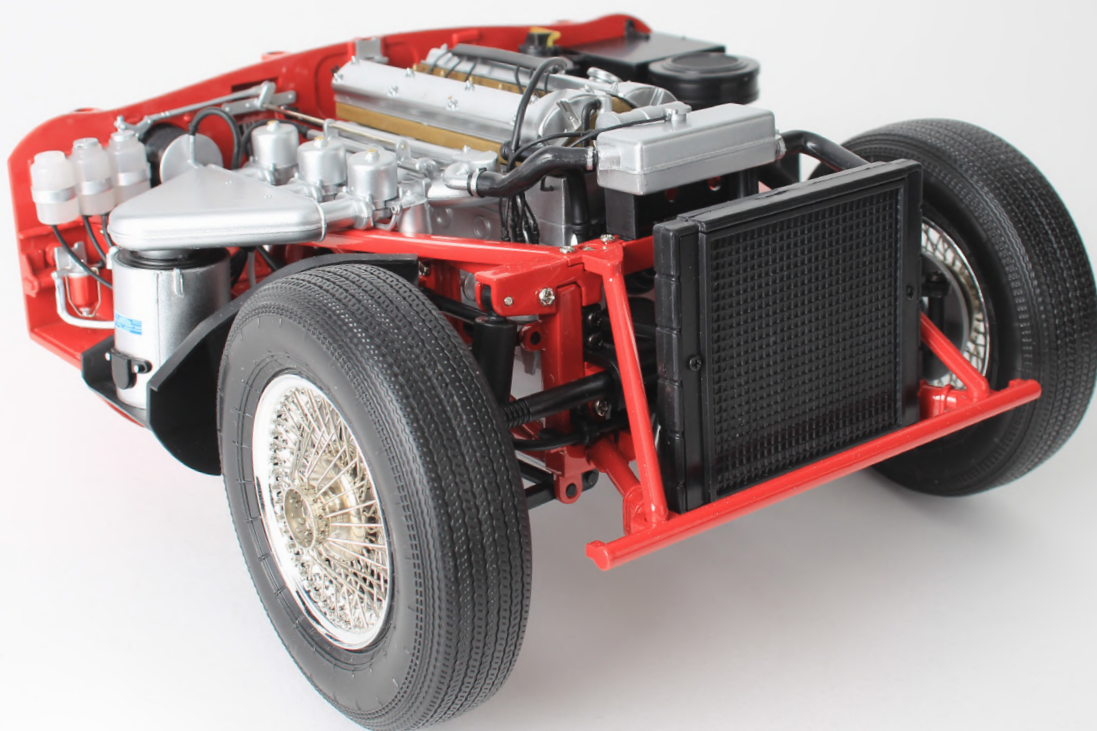
ワッシャーがセットされた状態です。

ステージ⑤③左フロントタイヤ



ワッシャーと左フロントホイールをAM07のネジで固定します。

ステージ⑤③の完了



ステージ⑤④右リアホイール1

右リアホイールを組み立てていきます。
手順はこれまで手掛けてきたホイールおよびタイヤと同じです。ここではホイールリム（外周）とインナースポークの開梱です。



STAGE⑤④パーツリスト

名称

インナースポーク×24

ホイールリム（外周）



インナースポーク×24



ホイールリム（外周）

ステージ⑤⑤右リアホイール2

左リアタイヤのホイールを組み立てていきます。ステージ⑤⑦でタイヤを取り付けて完了です。



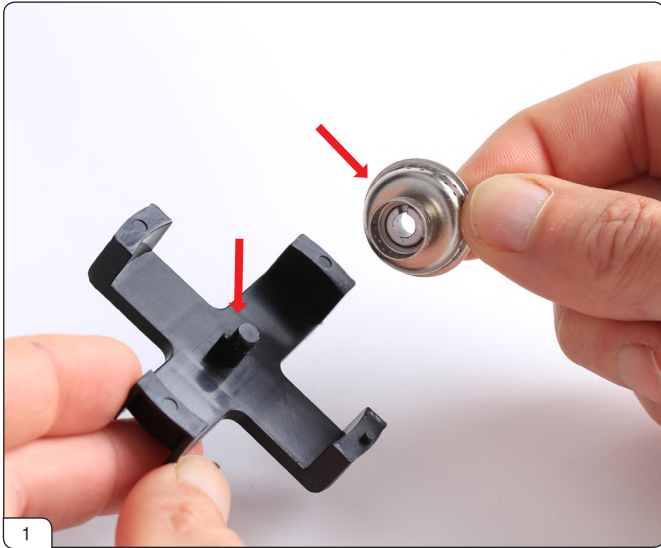
ステージ⑤⑤パーツリスト

名称
スポークリテーナリング
ホイールセンター
インナースポーク×24
ネジAG02×5



ステージ⑤右リアホイール2

STEP1

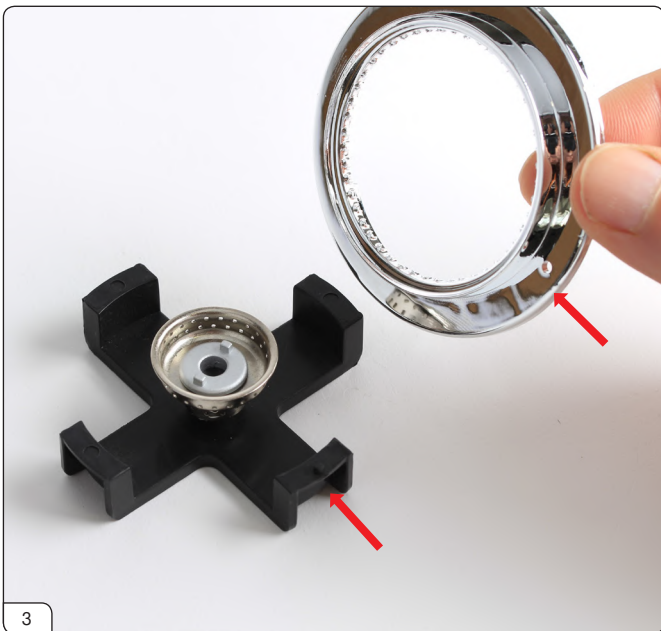


ジグ(治具)をセットする

ジグにホイールセンターをセットします。ホイールセンターの切り欠きとジグのタブを合わせて(赤矢印)、ジグのセンターに配置します。ジグは組み立てを容易にするガイドのようなもので、作業が完了したら取り外します。



ジグにホイールセンターがセットされた状態です。

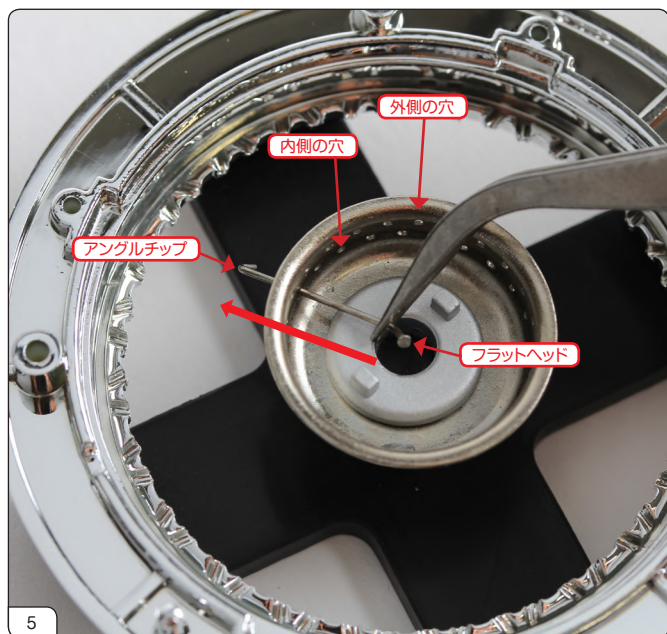


ホイールリムの外周の穴とジグの突起を合わせて(赤矢印)、ホイールリムをジグにはめ込みます。



ホイールリムがジグにはめ込まれた状態です。

ステージ⑤右リアホイール2



スポークの取り付け 内側の穴

まず、ホイールリムの内縁に、幅が交互に異なる「歯」があることに注意してください(写真6参照)。取り付けるスポークの両端はほぼ直角に曲がり、一方の端はヘッド部分が釘の頭のように平らになっています(アングルチップとフラットヘッド)。一連の作業は、ピンセットでアングルチップをホイールセンターの穴に通し(赤矢印)、ホイールリムの内縁にある「歯」に引っ掛ける繰り返しとなります。



写真のようにホイールリムの「歯」は、幅が「広い歯」と「狭い歯」が交互に並んでいます。最初の1本はスポークをアングルチップから内側の穴に通し、アングルチップが一番フィットする最も近い「広い歯」に先端を引っ掛けます。作業は付属のピンセットを使用してください。

注意:正しく取り付けるにはコツがあります。ホイールセンターを軽く押したりひねったりして動かし、各スポークのテンションを調整しながら取り付けていきましょう。



次に2本目のスポークを、1本目の隣の内側の穴に通し、アングルチップを次の「広い歯」に引っ掛けます。内側の穴に通すスポークは、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



同様に3本目のスポークを取り付け、以後、ホイールセンターの内側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けることです。注意して作業を進めてください。

ステージ⑤右リアホイール2



9
内側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



10
横から見た状態です。すべてのスポークが、内側の穴に取り付けられています。



スポークの取り付け 外側の穴

続けて、外側の穴にスポークを取り付けていきます。



12
アングルチップを穴に通して「広い歯」に引っ掛けることは同じですが、アングルチップは、内側の穴と逆方向を向きます。黄矢印が内側の穴のスポークで、赤矢印が外側の穴のスポークとなります。

ステージ⑤右リアホイール2



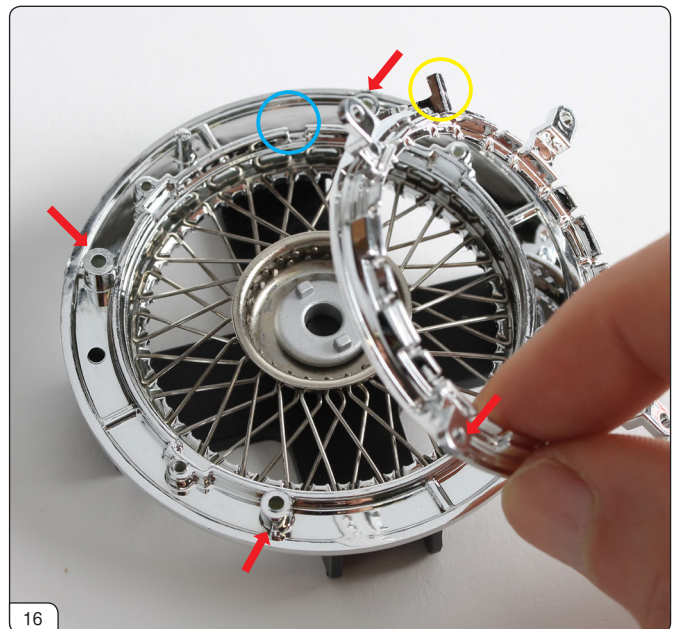
次に2本目のスポークを、1本目の隣の外側の穴に通し、アングルチップを逆向きにして（赤矢印）、次の「広い歯」に引っ掛けます。外側の穴に通すスポークも、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



以後、ホイールセンターの外側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けること、アングルチップを逆向きに引っ掛けることです。



外側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



スポークを止める

次はスポークリテーナリングでスポークを止める工程です。スポークリテーナリングを、ホイールリムの上に注意深く置きます。スポークリテーナリングの突起（黄丸印）とホイールリムの切り欠き（青丸印）を合わせると、赤矢印のネジ穴が合うはずです。

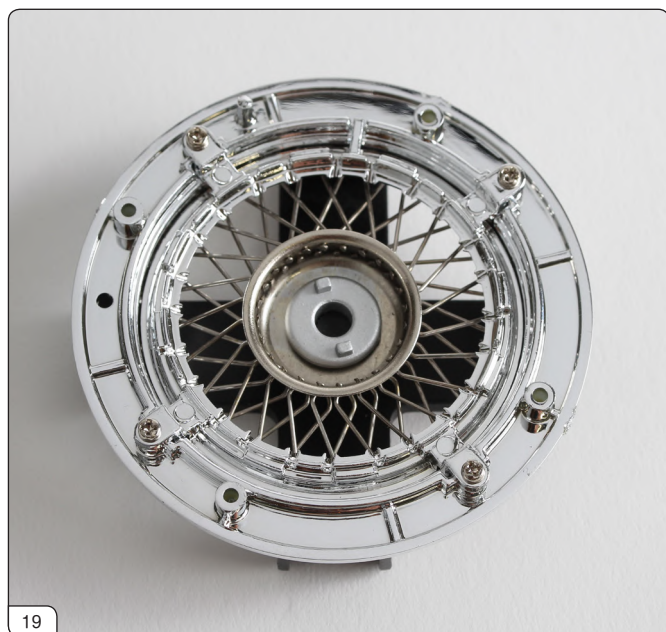
ステージ⑤右リアホイール2



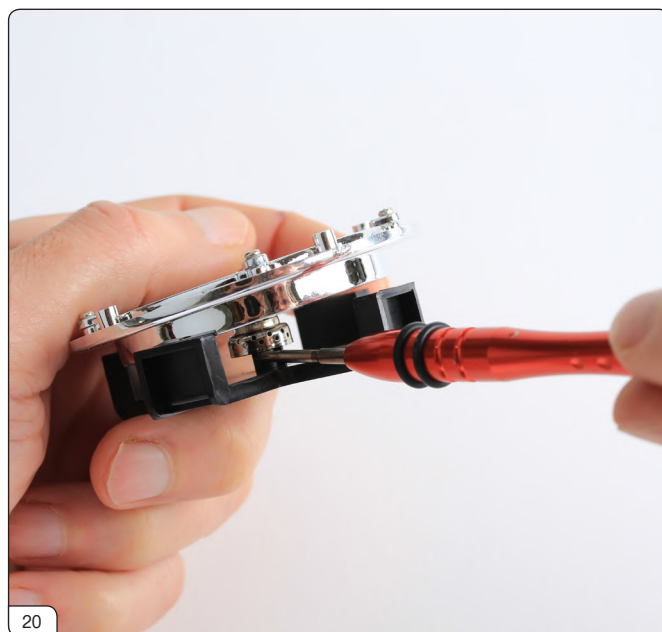
AG02のネジ4本で固定しますが、最初は緩めにネジを締めます。



AG02のネジ全部を緩めに締めたあと、スポークにがたつきがないか確かめながら、各ネジを増し締めしていきます。



スポークがしっかりと固定された状態です。



ホイールをジグから外します。ホイールを無理に引っ張らず、ドライバーなどを梃子にして外しましょう。ジグは残りの車輪を組み立てるときに使います。保管しておいてください。

ステージ55右リアホイール2

ステージ55の完了



ステージ⑤⑥右リアホイール3

ステージ⑤⑥に続いて、インナーリムを組み立てていきます。



STAGE⑤⑥パーツリスト

名称
スペーサーリング
インナーホイールリム
スポークタイプA×12
スポークタイプB×12
ネジAG03×5



スペーサーリング



インナーホイールリム



スポークタイプA×12



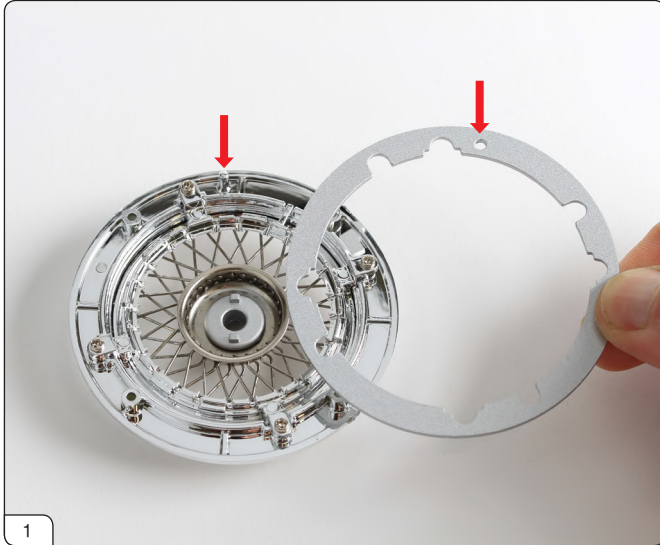
ネジAG03×5



スポークタイプB×12

ステージ⑤⑥右リアホイール3

STEP 1



スペーサーの取り付け

ステージ⑤で組み立てたホイールリムにスペーサーリングを取り付けます。スペーサーリングの穴（赤矢印）とホイールの突起（同）を合わせます。

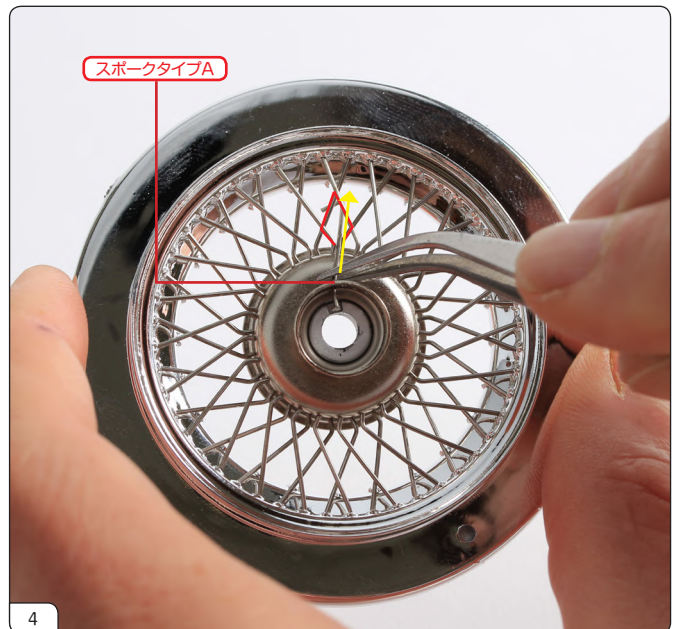


スペーサーリングを「カチッ」と音がするまで押し込みます。



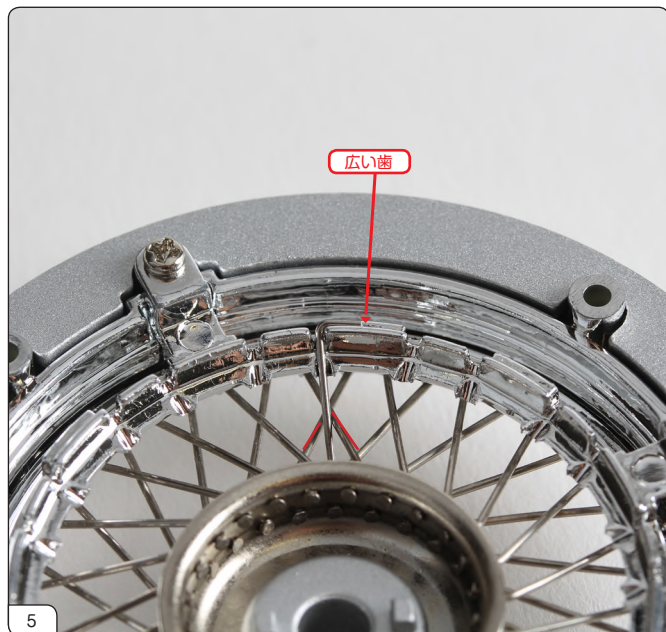
スポークの取り付け 内側の穴

ホイールリムを裏返して、スポークを装着する小さいホイールセンターを上に戻します。ステージ④と同じようにスポークを通す穴は、内側の穴と外側の穴があります。最初に内側の穴からスポークを取り付けていきます。

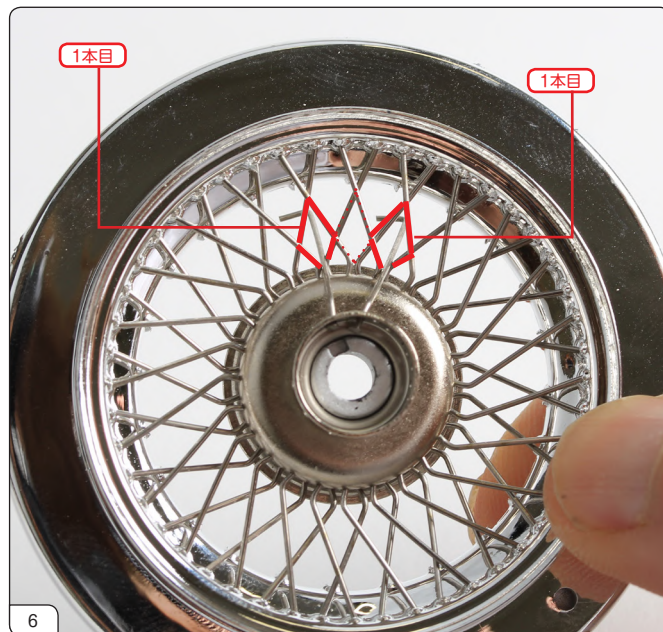


ピンセットを使って、スポークタイプAを内側の穴に通します。アングルチップを赤い菱形の開口部からやや時計回り（黄矢印）に向け、反対側に出します。

ステージ⑤右リアホイール3



ホイールリムを裏返し、先端のアングルチップが「広い歯」に引っかかるかどうかを確認します。「広い歯」に引っかからない場合には、スポークタイプAを引き出して、再度隣の穴に入れてみてください。今度は引っかかるはずです。



最初のスポークタイプAが正しく装着されるのを確認したら、アングルチップはフリーのままにしておきます。続いて2本目のスポークタイプAを隣の内側の穴に通します。

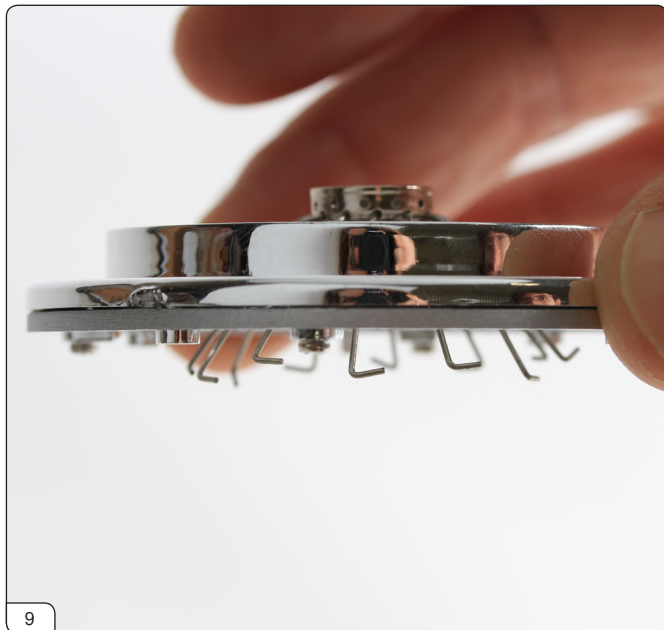


この作業を繰り返して、12本のスポークタイプAを入れていきます。スポークタイプAが入る場所は、赤い菱形部分です。青丸印は工程11に関係した目印です。



スポークタイプAの12本が、内側の穴に装着されました。

ステージ⑤⑥右リアホイール3

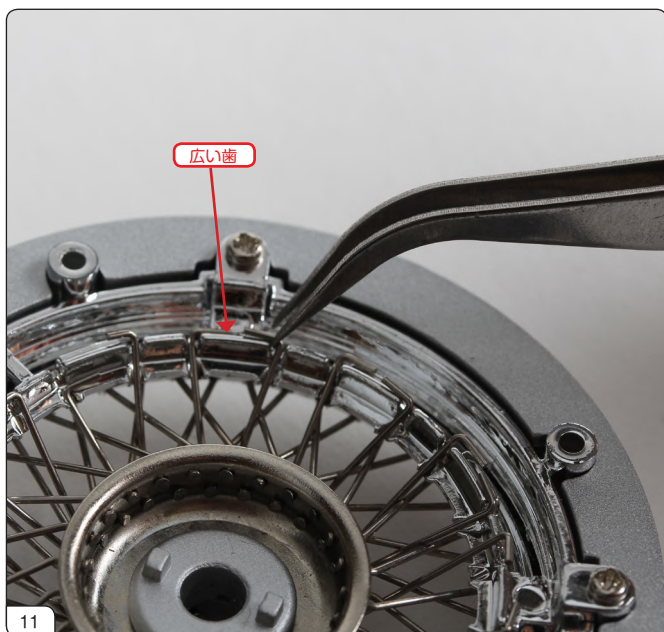


横から見た状態です。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。



スポークの取り付け 外側の穴

次にスポークタイプBを外側の穴に入れていきます。



スポークタイプBの装着は、空いた菱形の開口部（スポークタイプAを入れていない菱形の開口部。工程7の青丸印）に入れます。まずは反対側の広い歯に引っかかるかどうかを確認します。



スポークタイプBを反対側に通すと、スポークタイプAと交差（赤と黄色破線）するはずですが、「広い歯」に引っ掛かることを確認しながら、スポークタイプBの12本を入れていきます。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。

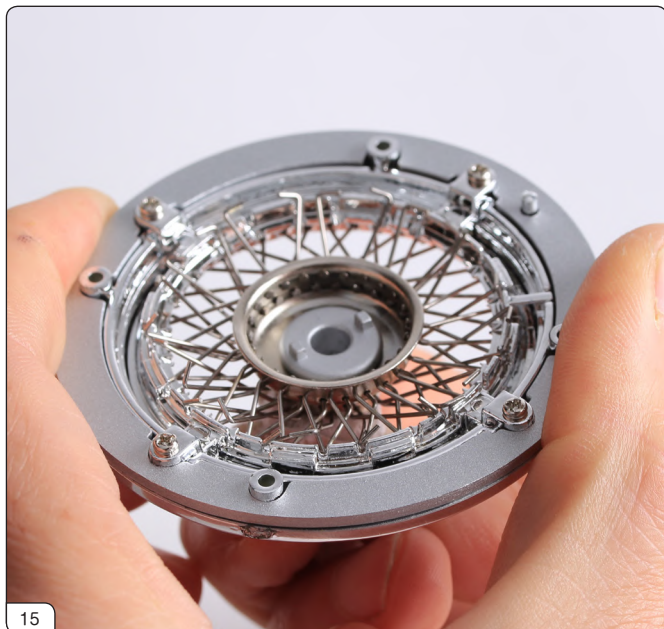
ステージ⑤⑥右リアホイール3



スポークタイプBの12本が、ホイールリムに取り付けられました。



コットンないしキッチンペーパーを用いて、スポークのフラットヘッド部分を押し込むようにして、フラットヘッドを所定の位置に固定します。

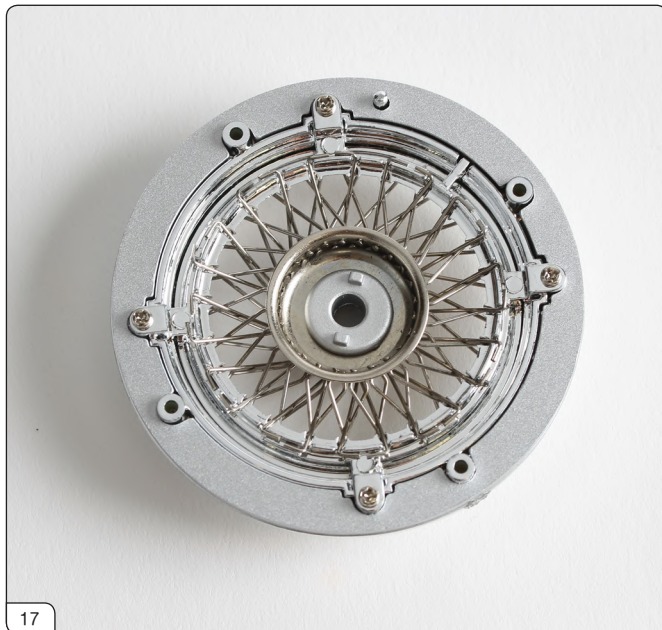


コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらホイールリムをひっくり返します。

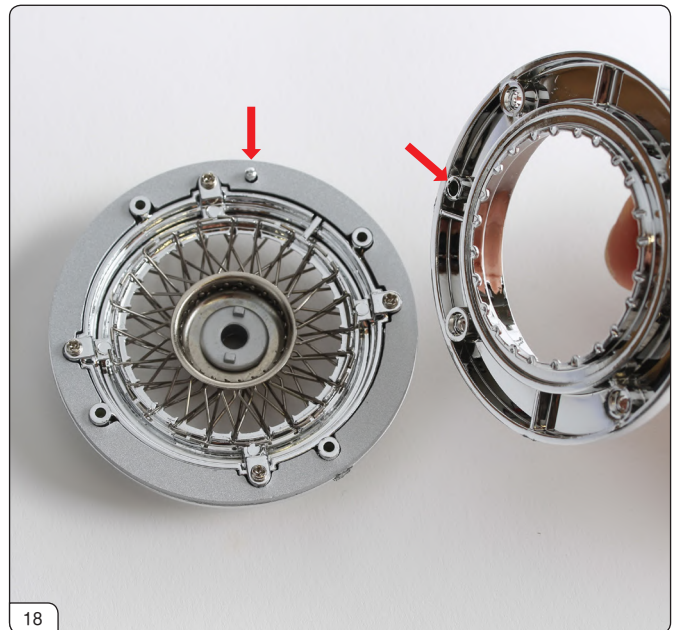


コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらスポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップを「広い歯」にセットしていきます。親指でなでるように押さえたり、ピンセットも使ってみてください。

ステージ⑤右リアホイール3



スポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップが、正しくセットされた状態です。

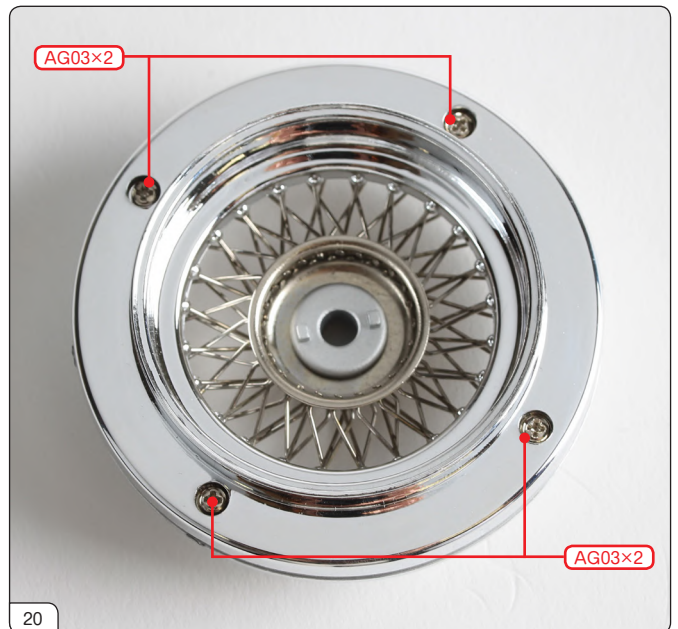


インナーホイールリムの取り付け

このステージで開梱したインナーホイールリムの穴とスパーサーリングの突起 (赤矢印) を合わせます。



これでネジ穴が合うはずです。インナーホイールリムをしっかりと押し込みます。ここでスポークリテーナリングとインナーホイールリムが、ぴったりと合わさっていることを確認してください。ギャップがある場合には、前の工程に戻ってスポークを調整します。



インナーホイールリムをAG03のネジ4本で固定します。

ステージ56右リアホイール3

ステージ56の完了

